

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 沖縄返還協定調印式(1)（調印式次第. 首脳挨拶文）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43559

大田(6/5)

(の場面)
附屬文書署名部放送 12月 5日午後 1時
この意味を取るかと 10月 13日。 2月 12日
当方より、詳細は 事約 内に 照会 され
1月 13日 これが 全然 署名の前に 答え
く need confirmation だ
あり、全部 放送了承し、これを一部 2.
切るとは 全(共謀) 次第 である 答文
3月 1日
た。(席上 事約 詳細に 電話にて 確かめ
たところ、詳細本 署名 は 確認する以前
である)
あるが、附屬文書署名の部分を 切り出し
放送了承には 署名の元反対思想の旨
述べた。
2. 異議 大意 口頭で 2. 既存会話
朱印一枚、技術的問題もある、また
式の審査、争点など、これらをまとめてくる。

①-△

なお、米側より、調印式の締めくくりを終了する約
21・22日の間、日韓の間も行なったこともあり、おどろく今回も
行なうことになるであろう旨答えておいた。(二の点は今後審議とめた)。

の2)(辰未 時よりはとてたをあきはないが)、取扱上
の事項(通商交渉はいかんとの意見から述べて
た方がいいのか?)

れた。これらは(当方より)、最初の口頭での
会話(決まり手ではあるので、⁽¹⁸⁾ 1月11日)
(内閣閣議決定) (このあと改めて方針、通2)

のことだ。
①-△

3. 合同記者会見

当方より、半側より提案された件会見は
当方において検討中である旨述べた。なお、

半側は、~~日本が行なわれた際~~、主席上
場トミー(局長、~~通商文部~~、~~通商大臣~~、
~~通商大臣~~、~~通商大臣~~)

沖縄は琉球本島の統治、69年の共同声明、
沖縄重要歴史年表、沖縄の開拓と主要干線

等。何れも日英両文(色内外記者に配布
する予定の由)。また通訳は、同時に通訳で取扱

GA-6

外務省

方の意図であるうといふことだ。

4. 機密回観答
→
機密用

米側より、調印直後⁽¹⁹⁾の22日席上⁽¹⁹⁾機密回観
(内部資料22)

機密を作成中である、~~日本~~日本と協議
され、7日より始まる週末は当方の席上

旨述べた。(当方より本件は慎重につめ
必要あるべき旨指摘。是方同意)。

5. バックランドルーフル

スヌーピー⁽²⁰⁾のバックランドルーフル

は各々行なうこととした。(当方よりは
調印の前より行なうことあるべき旨示唆)。

なお、米側より沖縄~~は~~行なう~~は~~意図~~は~~の
趣。

6. その他

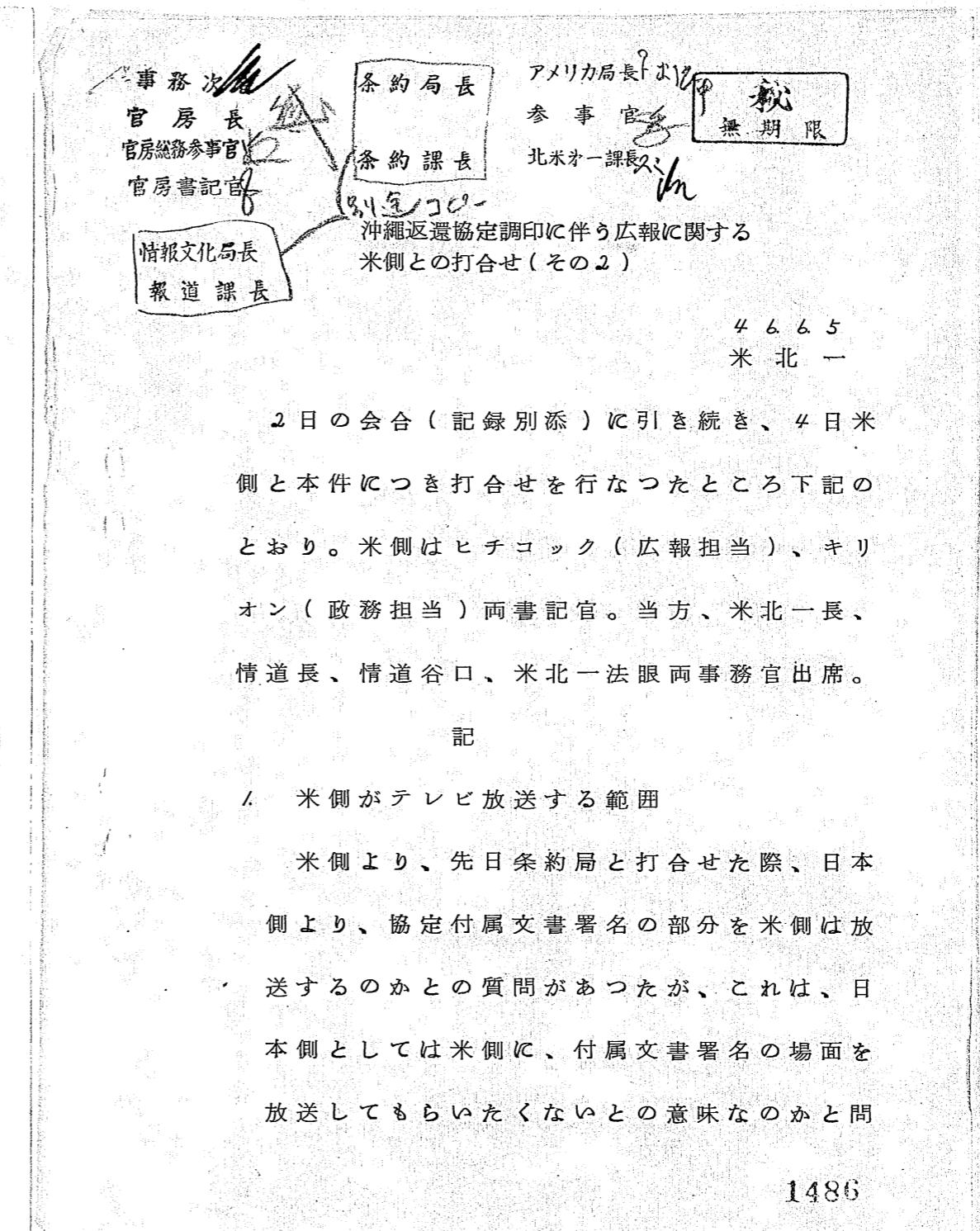
GA-6

外務省

米側より、調印式のテレビ中継せられた
 たいたので、ロジカルス会議インタビューアーは
 NHKでは
 同じく放送しないことになつたのである旨述べ
 ました。

GA-6

外務省



1486

うた。これに対し当方より、詳細は条約局に照会することとしたく *need confirmation* だが、これは全然差しつかえない筈であり、全部放送するか、それとも一部で切るかは全く米側次第であろう旨答えた（席上、条約課長に電話にて確かめたところ、詳細は条約局長に確認する必要があるが、付属文書署名の部分を米側が放送することは差しつかえないと思う旨述べた）。

2. 愛知大臣・ロジャーズ長官会話

米側より、技術的問題もあり、また式の雰囲気にもそぐわないかも知れないので（厳粛さを欠くことになるおそれはないか）、取り止めた方がよいのではないかとの意見が述べられた。これに対し当方より、愛知大臣・ロ

ジャーズ長官間の会話はこれを行なうことには決っているわけではないので、とりあえずこのままとしておき、追つて検討するということとなつた。

なお、米側より、調印式の締めくくりとして乾杯をするのかと問うたので、日韓の際も行なつたことでもあり、おそらく今回も行なうことになるであろう旨答えておいた（この点は今後官邸とつめる）。

3. 合同記者会見

当方より、米側より提案せる本件会見は当方において検討中である旨述べた。なお米側は、これが行なわれる際には席上ファクトシート（協定、付属発表文書、返還施設リスト、沖縄に残る米軍の概況、69年の共同声明、沖縄重要歴史年表、沖縄に関する主要データ等。いずれも日英両文）を内外記者に配布する予定の由。また通訳は、同時通訳でない方が適当であろうといふこととなつた。

4. プレス応答用擬問擬答

米側より、調印直後のプレス対策用に内部資料としての擬問擬答を作成中であり、日本側と協議すべく、7日よりはじまる週早々に当方へ届ける旨述べた。（当方より本件は慎

重につめる必要あるべき旨指摘。先方同意）。

5. バックグランド・ブリーフィング

双方とも対プレスのバックグランド・ブリーフィングは各々別個に行なうこととした。（当方においては調印前に行なうことあるべき旨示唆）。なお、米側は沖縄においてもこれを行なうつもりの趣。

6. その他

米側より、調印式がテレビ中継されることになつたので、NHKとしてはロジャーズ長官インタビューは同じ日には放送しないこととした由である旨述べた。